

議会広報委員が市内の注目スポットを取材!!

vol.8

# 議員ふじさん歩

今回の取材担当:長谷川 祐司



## 「いぼ神様」が祭られる かさもり 瘡守稲荷神社



旧東海道を県富士総合庁舎から西へ向かい歩いていくと、左に鶴芝の碑（ここから富士山を眺めると山腹に一羽の鶴が舞うように見えます。）があります。さらに西へ歩くと、本市場大淵線へぶつかり、ここを北へ向かうとすぐに瘡守（かさもり）稲荷神社が見えてきます。

ここは、別名「いぼ神様」と呼ばれ、今でも地元では、病気の平癒やできもの・腫れ物やいぼを治す神様が祭られていると言われていています。

言い伝えでは、ここから白い石を借りて患部をなでるとよいとされ、治ったら白い石を洗い、ほかの白い石と2つにして返すとされています。

ぜひ、散歩をしながら瘡守稲荷神社をお参りしてみてください。

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

### 議会にひと言

に進めている地域行事では、まちづくりセンター職員が事務局として担っている現状や、地域ごとの慣習・風土、少子高齢化の進展の違いなど、課題も浮き彫りとなり、丁寧な対応が重要です。議会に望むことは、地域住民の声に積極的に寄り添い、地域の課題を捉えた上で、10年、20年先の展望を掲げ、発信しながら、議会活動に臨んでもらいたいです。「誰のための議会なのか」原点に立ち返り、住民の安全・安心のため、富士市の発展のために活躍いただくことを期待しています。



今回は、富士市町内会連合会会長の荻野克雄さんに議会に対する御意見を伺いました。（インタビュアー：井出晴美）

**令** 和という時代を迎え、富士市も令和3年、4年に向け転換期を迎えます。例えば、まちづくりセンターの指定管理者制度導入や小中学校の規模・配置の適正化に向けた取組等が進められる一方で、まちづくり協議会を中心

### 議会 vol.8 ヒストリー

#### 「富士市」発足以降の特別委員会のあれこれ



特別委員会とは、重要課題となっている常任委員会の所管に属さない特定の案件等を審査するために議会の議決で設置する委員会で、案件の処理や調査が終わると終了します。

昭和41年11月1日の「富士市」発足以降、これまでに設置された特別委員会は31あり、昭和43年から昭和45年にかけては、最多の9つの特別委員会が設置されました。

また、設置期間について最長は、平成2年設置の富士・愛鷹山麓地域環境管理特別委員会が25年間、次いで平成3年設置の第二東名自動車道対策特別委員会が22年間でした。

現在は、ごみ処理施設建設特別委員会、ユニバーサル就労推進特別委員会を設置し、審査を行っています。

（担当：佐野智昭）

### 編集後記

2月定例会は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、議員職員ともにマスクを着用しての本会議、委員会となりました。

市民の皆様への行政サービスに直結する令和2年度各会計予算を慎重に審議しました。また令和2年度市長施政方針の表明を受けて、これからの富士市の市政運営について、市民の代表として各党派から代表質問を行い、一般質問では現状の課題や今後の市政について大いに議論を交わしました。議会だより、ウェブサイトににつきまして、市民の皆様が御覧いただけるよう、努力を続けてまいります。（吉川隆之）

### 次回定例会予告

6月定例会は、6月15日から7月2日まで開催される予定です。常任委員会委員の改選等が行われる予定です。

発行  
富士市議会  
編集  
議会広報委員会  
静岡県富士市永田町1丁目100番地  
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト  
富士市議会  検索